



コミュニティぬまづ第一

沼津市第一地区コミュニティ推進委員会広報紙

第5号

平成10年4月1日発行

健康で明るく住みよい街づくり

第一地区コミュニティ祭

三月二十二日・盛大に地区センターで開催

第一地区コミュニティ推進委員会主催の「平成九年度第一地区コミュニティ祭」は、三月二十二日（日）第一地区センターと第一小学校体育館で盛大に開催された。



午前九時からのオープニングセレモニーでは、副島祭典委員長の挨拶、斉藤沼津市長の祝辞のあと、テープカットがあり、正面玄関に仕掛けられたコミュニティのシンボルマークが姿を現すと来場者からどよめきの声が上がった。

◎展示の部

センター会議室を使っの展示コーナーでは、生け花、絵画、書道、手芸、写真、陶芸のほか、小中学生の作品や洋菓子教室で作られたケーキが展示された。どの作品も、



日頃の成果を発揮した見事なもので、来場者の目を楽しませた。また、創作折り紙のコーナーでは、製作者の安藤さんから多くの方が創作折り紙の手ほどきをうけていた。

◎健康チェックコーナー

二人の保健婦さんに来ていただき、血圧測定、体脂肪測定、乳ガン自己診断や健康相談を行ったが、健康に対する関心度が高く百五十人の方が健康チェックをうけられた。



◎模擬店コーナー

地区センター前広場にテントを張ってシチューの無料サービス、トイレットペーパーティッシュペーパー、ノッポパンの格安販売を行った。

シチュー作りは焚き出し訓練の意味合いもあり、防災指導部、社会福祉部、消防第二分団が担当、五百人分を作り来場者にサービスした。

販売部門では、青少年育成部やPTAの指導のもと、中学生により販売され、用意した品物を全て販売した。



（次ページへ）

また地区センター一階のロビーにはコーヒーコーナーが設けられ来場者にサービスされた。

◎演芸の部

コミュニティ推進委員会の大川相談役の開会の挨拶で始まり、シャギリ、大正琴、小学生による器楽の合奏、ピアノ演奏、煙火太鼓、日本舞踊などの出演があり、見事なばちさばき、素敵な演奏や踊りに観客から大きな拍手が送られていた。

◎アトラクションの部

午後行われたアトラクションの部では、老人部、体育部子連などが準備に当たり、今回は輪投げ大会を行った。一チーム5名で編成された老若男女二十二チームが出場熱戦を展開した。

全チーム2ゲームの合計得点の上位チームにより決勝トーナメントが行われ、真砂町白寿会チームが優勝した。

◎お抹茶・囲碁将棋コーナー

和室において、茶道教室を開いていただいている東海庵龍子先生のお抹茶のサービスがあり、二百名の方が美味しくお茶をいただいた。

また隣の和室においては、囲碁将棋のコーナーを設けて大人から小学生まで好きな時間に対局を楽しんだ。

◎その他

祭り開催に当たっては、多くの有志からのご協力をいただき、会場を訪れた人には来場記念品が受付担当の婦人部の方より手渡された。

会場周辺や車両の整理には交通安全部の方々が担当され祭り終了後の後片付けや清掃には環境美化指導部が当たる



などコミュニティ推進委員全員で祭りを盛り上げた。

コミュニティ祭開催に当た

っては、昨年十月の常任委員会において準備(実行)委員会を設置、石井一雄委員長を中心にそれぞれの担当部門別に準備を進めてきました。

コミュニティ推進委員会が発足して一年、一つの行事に全委員が参画するという、推進委員会挙げての行事となりました。

一抹の不安を抱えての開催でしたが、委員の皆さんの努力と地域住民のご協力により当初は五百人の来場者を見込んでおりましたが、大幅に上回る方々が会場に見えられ、祭りは盛況に終了しました。

初めての試みで個々には何かと手違いはありましたが、今回の祭りを一つのベースとして「コミュニティ祭」を、大きな行事の一つとし「健康で明るく住みよい街づくり」推進の一環として、定着させたいものです。

第1地区成人式

「輝かしい新世紀を力強く」

第一地区の成人式が、平成十年一月十五日に「高砂殿」において行われました。

生憎のみぞれまじりの悪天候のなか八十人の新成人が参加し、来賓としてかけつけた斉藤沼津市長を始め多くの関係者の祝福を受けました。

式典では副島会長や来賓の祝辞があり、新成人を代表して高田ちさとさんと神尾美知宏くんが力強く誓いの言葉を述べました。

平成10年度
コミュニティ推進委員会定時総会

- ・開催日時：5月22日(金)
午後7時より
- ・開催場所：第一地区センター



二部の懇親会では、今回招待した小学校の恩師を囲んで和やかな雰囲気の中、新成人としての自覚と希望に満ち溢れた若人の集いはいつまでも続き、予定時間をオーバーする盛り上がりでした。

「青少年育成推進委員会」
酒井 明

趣味の教室がふれあいの場に

平成九年度の事業としては地域の方々にボランティアで講師を務めていただき、趣味の教室の開催・市のリクエスト講座を利用しての運動と健康づくり教室・郷土史講座、体育部と行ったミニテニス教室や夏休み子供映画教室などでした。

これらの行事の実施に際し多くの方々のご協力に感謝しております。参加者の方からも「教室を通じて人との出会い触れ合いがあって楽しくできました。又みんなで集まりましたよ」などの感想をいただきました。大変うれしく思っております。さて、平成十年度も趣味の教室は、現講師のご理解とご協力により引き続き実施いたします。新たに今年度は書道教室が開催されます。今年度の各教室の講師を、改めて紹介します。



・生け花教室

加藤 翠風さん(真砂町)

・茶道教室

東海庵龍子さん(末広町)

・大正琴

小野けい子さん(添地町)

・洋菓子教室

杉山 智さん(市役所)

・書道教室

井口八千喜さん(町方町)

今年度も、色々と行事を企画いたしますので、皆様からのご意見・ご要望をお寄せください。また行事へ積極的にご参加ください。そして、成果をコミュニティ祭の場で発表していただきたいと思います。(教育文化部長 高橋 誠)

体育部

平成十年度体育部の主な行事計画

月別	体育部主催行事関係
5	沼津市長杯バレーボール大会
6	夏期ソフトボール大会 婦人バレーボール夏期リーグ戦
8	夏期バドミントン大会
10	軽スポーツ講習会&大会 バレーボール教室
11	男女混合バレーボール大会
1	元旦歩け歩け運動 紅白初打ちソフトボール 初アタックバレーボール
2	男女別バレーボール大会
3	春季バドミントン大会

月別	市行事、関係団体行事
7	市民綱引き大会
8	トライアスロン駅伝inNUMAZU 県父親ソフトボール地区大会
10	ぬまづ健康スポーツ大会
11	教育長杯バレーボール大会 シニア・ソフトボール大会
3	弥生杯バレーボール大会

老人クラブ第一支部より

新年度を迎え市老連老人クラブの新たな行事が決まっています。

この行事を行うに当たっては、先ず高齢者の生き甲斐を高め、楽しいクラブ活動の出来る仲間が一人でも多くなる必要があります。

このところ老人クラブのメンバーが減少する傾向が続いていることは残念です。お互いに助け合って、楽しい老後とするためにも、多くの方々に会員として参加していただきたいと願っております。六十五才以上の方は会員になれますので、ぜひご参加下さい。

(老人部長 佐藤 正寿)

「ワッカリトヤムサ」
「我輩に住む人たちが、
暇をふれあつて通して
結ぶ合ふ、懐かき郷土を
もてなす事や共につ、力を
合せて団結を出一合ら
より一団結に住みよ
暇をせよ、心豊か
な郷土をつくるおきて
を、我輩共々」のり
んじや。
近隣社会、地域社会、
我輩共々団結をせよと
なす。

社交ダンスパーティー
開催のお知らせ

次のとおり社交ダンスのパーティーを開催します。自由にご参加ください。

日時 四月二十四日

午後六時三十分～九時

場所 第一地区センター

参加費 無料

・ダンスシューズ着用の事
・ハイヒール型シューズは
ヒールカバーを着ける事
・徒歩または自転車でおこ
しください。

主催 ダンスクラブフロアール

☎六二一六六六六





◆丸子神社◆



丸子神社の御祭神は金山彦尊といい、今の金属関係を主宰される神様です。旧記には「金山を主宰する神様・伊邪那美神の御子也荒金を土中に採り、これを以て或は剣、鐘を作り、或は刃杖、鋤、鍬を鍛える等、皆この幸へ護り給うところなり」とあります。

第六十代醍醐天皇の延喜式神名帳に所載する「式内神社」で第十代崇神天皇の御代この地に創建されたといわれている、特別由緒ある神社です。

明治十年十二月には、現在の浅間神社に御遷座奉斎され、明治十二年七月二十二日には県社に昇格された。

昭和五十三年六月に社殿が改築された。改築に伴い、埋蔵文化財の発掘がなされ、その結果、貴重な祭祀遺跡として、由緒ある古い神社であることが確認された。

＜地区センター利用状況＞

休館日

月別	回数	利用者人数
4月	39	1,161
5月	66	1,437
6月	67	1,727
7月	83	1,925
8月	58	1,219
9月	76	1,426
10月	102	2,129
11月	89	1,501
12月	63	1,668
1月	68	1,082
2月	78	1,251
3月	90	2,455
累計	879	18,981

* 3月は予定利用数です。

⇒地区センター ☎ 63-5088⇐

沼津第一地区

戦後の歩み (その5)

17. 第一回第一地区バレーボール大会を開催。

昭和44年3月30日「婦人の部」8チーム、「成人の部」2チームが参加、盛大に開催された。これが地区バレーボール大会の始まり。

18. 第一地区体育委員会が設立される。

地域の体育振興は、従来は体育指導員が企画・運営をし、校区祭を主な地域行事として行っていたが、バレーボールやソフトボールにも取り組むようになり、校区の体育行事開催に幅広く意見を聞く必要性から、各自治会より体育部長を選出し、体育委員会を設立。昭和47年初代体育委員会の会長に白銀町自治会長・渡辺 信氏が就任、地域の社会体育振興を目指して産声をあげた。

19. 第一回盆踊り大会を開催。

体育委員会の組織のなかに婦人民謡部を設け、添地・増田智子、真砂・渡辺房江両氏の指導のもと月二回の練習をした。その成果発表の場として、盆踊り大会を夜間照明のないグラウンドに投光機を持ち込んで実施した。

その後夜間照明も出来、現在の納涼祭に発展した。模擬店なども出る大きな行事の前身である。



編集室だより

▼第一地区センターが開館して、丁度一年となりました。

その間の利用者も間もなく二万人となります。コミュニティ推進委員会のメンバーも新しくなりました。地域住民のふれあいを大切にし「健康で明るく住みよい街づくり」に力を合わせ頑張りましょう。